

『平塚市史5』 資料編 近代（1）

資料編 近代は、全3巻からなり項目別に編年でまとめています。

近代（1）では、王政復古の大号令がかかり、幕末・明治維新の舞台が大きく回る頃から明治地方制度の枠組みを決定づける市制・町村制が制定・実施された、慶応4年（1868年）から明治22年（1889年）までの資料を収録しました。

本巻に収められた資料448点は、今日の平塚市の出発点となる基礎資料であり身近な郷土研究の一助として広く活用されることを希望いたします。

真土事件の被告たち
 前列（向って右より） 1 伊東平兵衛 2 冠弥右衛門（代女吉） 3 新倉嘉兵衛
 4 井上左衛門 5 石川候左衛門 6 伊藤五郎 7 伊藤佐次兵衛 8 伊藤兵左衛門
 9 伊藤治郎左衛門 10 伊藤佐五左衛門 11 伊藤兼吉 12 伊藤福兵衛
 後列（向って右より） 1 福田小五郎 2 冠伝次郎 3 山本乙右衛門 4 吉野弁藏
 5 伊藤兼吉 6 伊藤岩次郎 7 伊東生左衛門（代兼吉） 8 伊東元兵衛（代キ）
 9 伊藤富五郎（代松五郎） 10 冠峯松（代佐吉） 11 三上長次郎（代兼吉）
 （昭和八年「吾等の郷土」より）



—掲載内容—

- 1 県制の変遷・大区小区制……………御一新と県制度と民衆への触れ
 大区小区制の機構と規則
 小区・村の行財政の実状
 柏木忠俊と足柄県再興計画
- 2 地租改正と村むらの景況……………土地改革の手順
 治水・水利のとりきめと動き
 むらの経済状態
- 3 真土事件とその社会的影響……………質地問題をめぐる係争
 質地裁判の経過
 「真土騒動」と土地所有権回復の善後策
 事件関係者への減刑歎願の動き
 新聞記事その他
- 4 民政・教育・宗教・産業等の諸政策……………社会生活と治安
 教育・宗教・兵事
 勸業と産業・交通
 保健衛生と対策

- 5 地方三新法体制……………郡区町村編成法下の村構成
社会・環境問題への対応
学校経営と経済事情
水利約定と河川対策
- 6 自由民権の潮流と明治地方自治制……………国会開設運動と湘南社、騒擾
キリスト教の普及
東海道鉄道の開通
町村制の成立と村むらの再編成